Cloud SDK Console Access Library TypeScript版 機能仕 様書

Version 0.1.0 2022 - 11 - 10

Table of Contents (目次)

更新履歴	1
はじめに	2
用語・略語	3
参照資料	4
想定ユースケース	5
機能概要、アルゴリズム	6
燥作性仕様、画面仕様	C
各BlockでのAPIパラメータ	11
ログ出力メッセージ	
目標性能1	18
制限事項1	19
その他特記事項	2C
未決定事項	21

更新履歴

Date	What/Why
2022/11/10	初版作成

はじめに

◆ 本書は、Consoleへのアクセスを提供するConsole Access Libraryについての機能仕様である機能開発言語には、Python/TypeScriptを使用する

用語・略語

Terms/Abbreviations	Meaning
Console for AITRIOS	エッジからクラウドを含めたソリューションを 効率的に導入するための各種機能(デプロイメ ント機能、リトレーニング機能、デバイスマネ ジメント機能など)を提供するクラウドサービ ス 以降、本文中ではConsoleと記載する
Low Level SDK	ConsoleのREST APIのAPI仕様(yaml)か らOpenAPI Generatorで自動生成したClient
Cloud App	Console Access Libraryを使用するアプリケーション

参照資料

想定ユースケース

- ◆ Console Access Libraryを使用して、下記を実施する
 - ◆ エッジAIデバイスの情報を取得
 - ◆ エッジAIデバイスに推論開始(推論結果アップロード開始)、推論停止(推論結果アップロード停止)
 - ◆ エッジAIデバイスの出力結果(画像、推論結果)の取得

機能概要、アルゴリズム

Functional Overview

- ◆ Consoleにアクセス可能なClientを生成する
 - ◆ Consoleアクセスに必要な設定ファイルを作成し、設定ファイルをClientに設定する

Consoleアクセスに必要な情報は下記である

Name	Description
Console endpoint	APIサーバ・ベースURL
Authorization endpoint	アクセストークンを発行する認証サー バURL
Client ID	アクセストークン発行に必要なClient ID
Client Secret	アクセストークン発行に必要なClient Secret

◆ Clientから機能毎に分類されたConsoleのAPIを実行する



機能毎の分類は、Consoleが提供するLow Level SDKのAPIの分類に従います。

Consoleアクセスに必要なアクセストークンの取得と更新をします。 (Wrap)

- Device Management
 - get_devices / エッジAIデバイスの情報一覧取得
 - start_upload_inference_result / 推論結果メタデータ取得開始
 - stop_upload_inference_result / 推論結果メタデータ取得停止
 - get_command_parameter_file / Consoleに登録され たCommandParameterFileの一覧取得
- Insight
 - get image directories / 画像保存ディレクトリー覧取得
 - get_images / 保存済画像取得
 - get_inferenceresults / 保存済推論結果メタデータ一覧取得

- ◆ Console Access Libraryの実行時、コンソールにログの出力を行う
 - ◆ ログフォーマットは下記の通りに定義する
 - [ログ出力時刻][ログレベル][クライアント名]: メッセージ本文
 - ログ出力時刻は、ユーザーが利用する環境のシステム時刻を使用する
 - ログ出力時刻は、ISO 8601形式で日付+時刻+タイムゾーンを出力する
 - ログ出力例: 2022-06-21T11:31:42.612+0900 ERROR ConsoleAccessClient : Failed to log request
 - ◆ ログレベルを指定して、出力するログレベルを切り替えられる
 - ログレベルは下記の通りに定義する

Level	Summary
ERROR	Console Access Libraryの実行時、正常に処理を終了できなかった 場合に使用する
WARNIN G	異常とは言い切れないが正常とも異なる、何らかの予期しない問題が 発生したときに使用する
INFO	Console Access Libraryがイベントを実行する際に使用する
DEBUG	Console Access Libraryの動作状況等、詳細なデバッグ情報を使用 する
OFF	全てのログを無効にする

- 指定したログレベル以上のログを出力する
 例) INFOを指定するとINFO/WARNING/ERRORを出力し、DEBUGは出力しない
- 指定したログレベルがOFFの場合は、全てのログレベルを出力しない
- 既定のログレベルはOFFとする
- ログレベルの指定は、ライブラリを利用するアプリケーション側で開発言語毎 に指定された手順で行う

Pythonでの指定例

import console_access_library

Set the desired logging level
console_access_library.set_logger(level=logging.WARNING)

- ◆ Console Access Libraryの実行時、エラー条件の確認を行う
 - ◆ 以下の条件でエラーと判断する
 - APIの入力パラメータが不適
 - APIの入力パラメータは適切だが、 Console Low Level SDKからの応答が期待通りではない(Timeout/Errorなど)
 - Consoleに正常に接続できない(認証エラー、URL誤り、など)

Algorithm

- ◆ Console Access Library使用開始
 - 1. Cloud AppでConsoleアクセスに必要な設定ファイルを作成
 - 2. Cloud AppからのClientを作成

Client生成時には、設定ファイルの読み込み、アクセストークンの取得、Low Level SDKの生成

3. Client instanceからLow Level SDKのAPIをWrapしたAPIを利用

Low Level SDKのAPIをWrapしたAPI内で、Consoleアクセスに必要なアクセストークンの取得、更新

- ◆ 推論結果メタデータ取得開始 停止
 - 1. get devices APIで、デバイスのIDを確認
 - 2. start upload inference result APIで推論結果メタデータ取得開始
 - 3. InsightのAPIを使用して、推論結果、画像の取得
 - 4. stop upload inference result APIで推論結果メタデータ取得停止

Under what condition

◆ ConsoleのAPIへのアクセスはLow Level SDKを使用すること

API

- Client
 - constructor(setting_file)

- get_device_management()
- get_insight()
- ◆ DeviceManagement
 - get_devices(device_id: str, device_name: str, connection_state: str, device_group_id: str)
 - start_upload_inference_result(device_id: str)
 - stop_upload_inference_result(device_id: str)
 - get_command_parameter_file()
- ◆ Insight
 - get_image_directories(device_id: str)
 - get_images(device_id: str, sub_directory_name: str, number_of_images: int, skip: int, order_by: str)
 - get_inference_results(device_id: str, filter: str, number_of_inference_results: int, raw: int, time: str)

Others Exclusive conditions / specifications

◆ command parameter fileをエッジAIデバイスに適用済みであること

操作性仕様、画面仕様

◆ なし

各BlockでのAPIパラメータ

各エラーメッセージは、関数名が言語によって異なる(この資料では代表してPythonでのエラーメッセージを記載)

Client

◆ constructor: コンストラクタ

【Error:設定ファイル読み込みにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error:アクセストークン取得にてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKのAPIから返却されたhttp_statusが200以外の場合】Errorを

発生させる

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
setting_file	Consoleアクセスに必要な 情報を記述した設定ファイ ルへのパス	なし

Return value	Meaning
Client instance	Low Level SDKのAPIをWrapしたAPIを実
	行可能なclient instance

◆ get_device_management: DeviceManagement APIを提供するInstanceの取得

Return value	Meaning
DeviceManagement instance	DeviceManagement APIを提供するInstance

♦ get_insight: Insight APIを提供するInstanceの取得

Parameter' s name Meaning Range of parameter
--

Return value	Meaning
Insight instance	Insight APIを提供するInstance

◆ DeviceManagement

◆ get_devices: Deviceの情報取得

【Error: Low Level SDKにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKのAPIから返却されたhttp_statusが200以外の場合】Errorを

発生させる

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
device_id	エッジAIデバイスのID	部分検索、大文字小文字は 区別しない 指定なしの場合、 全device_id検索
device_name	エッジAIデバイスの名前	部分検索、大文字小文字は 区別しない 指定なしの場合、 全device_name検索
connection_state	接続状態	接続状態の場合: Connected 切断状態の場合: Disconnected 完全一致検索、大文字小文 字は区別しない 指定なしの場合、 全connection_state検索
device_group_id	エッジAIデバイスの所属グ ループ	完全一致検索、大文字小文 字は区別しない 指定なしの場合、 全device_group_id検索

Return value	Meaning
result	実行結果
Device information	エッジAIデバイスの情報

◆ start_upload_inference_result: 推論結果メタデータ取得開始

【Error:device_idが空の場合】E001:device_id is required.

【Error: Low Level SDKにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKのAPIから返却されたhttp_statusが200以外の場合】Errorを 発生させる

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
device_id	エッジAIデバイスのID	なし

Return value	Meaning
result	実行結果
outputSubDirectory	Input Image格納パ ス、UploadMethod:Blob Storageのみ

◆ stop_upload_inference_result: 推論結果メタデータ取得停止

【Error:device_idが空の場合】E001:device_id is required.

【Error: Low Level SDKにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKのAPIから返却されたhttp_statusが200以外の場合】Errorを発生させる

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
device_id	エッジAIデバイスのID	なし

Return value	Meaning
result	実行結果

◆ get_command_parameter_file: Consoleに登録されたCommandParameterFileの
一覧取得

【Error: Low Level SDKにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKのAPIから返却されたhttp_statusが200以外の場合】Errorを

発生させる

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
------------------	---------	--------------------

Return value	Meaning	
result	Consoleに登録されてい	
	るCommandParameterの一覧	

Insight

◆ get_image_directories: 画像保存ディレクトリー覧取得

【Error: Low Level SDKにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKのAPIから返却されたhttp_statusが200以外の場合】Errorを発生させる

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
device_id	エッジAIデバイスのID	なし 指定なしの場合、全て
		のdevice_idの情報を返す

Return value	Meaning
result	実行結果
Image save directory information	画像保存ディレクトリ情報

◆ get_images: (保存済)画像取得

【Error: device idが空の場合】E001: device id is required.

【Error: sub_directory_nameが空の場合】E001: sub_directory_name is required.

【Error: Low Level SDKにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKのAPIから返却されたhttp_statusが200以外の場合】Errorを発生させる

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
device_id	エッジAIデバイスのID	なし
sub_directory_name	画像保存のサブディレクトリ	なし サブディレクトリ は、start_upload_inferen ce_resultの応答で通知され るdirectory、また は、get_image_directorie sで取得したdirectory
number_of_images	画像の取得数	0-256 指定なしの場合:50
skip	取得をスキップする画像の 数	なし 指定なしの場合:0
order_by	ソート順:画像の作成され た日時によるソート順	DESC、ASC、desc、asc 指定なしの場合:ASC

Return value	Meaning
result	実行結果
Image filename and image content	画像ファイル名と、画像ファイルデータ (base64 encode済みデータ)

◆ get_inference_results: (保存済)推論結果メタデータ一覧取得

【Error:device_idが空の場合】E001:device_id is required.

【Error: Low Level SDKにてErrorが発生した場合】Errorを発生させる

【Error: Low Level SDKのAPIから返却されたhttp_statusが200以外の場合】Errorを発生させる

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
device_id	エッジAIデバイスのID	なし

Parameter's name	Meaning	Range of parameter
filter	検索フィルタ(Azureポータ ルのCosmos DB UIと下記 以外は同じ仕様) - where文字列を先頭に付 加する必要はない - deviceIDを付加する必要 はない	なし
NumberOfInferenceresul ts	取得件数	なし 指定なしの場合:20
raw	推論結果のデータ形式	1:Cosmos DBに格納されたままのレコードを付加0:付与しない指定なしの場合:0
time	Cosmos DBに格納された 推論結果データのタイムス タンプ	yyyyMMddHHmmssfff - yyyy: 4桁の年の文字列 - MM: 2桁の月の文字列 - dd: 2桁の日の文字列 - HH: 2桁の時間の文字列 - mm: 2桁の分の文字列 - ss: 2桁の秒の文字列 - fff: 3桁のミリ秒の文字列

Return value	Meaning
result	実行結果
inference data	推論結果

ログ出力メッセージ

各レベル毎に表示するメッセージは下記の通り定義する

ERRORレベル

T.B.D.

WARNINGレベル

T.B.D.

INFOレベル

T.B.D.

DEBUGレベル

T.B.D.

目標性能

- ◆ 品質の目標
 - ◆ 単体試験
 - COカバレッジ100%
 - 入力引数の境界値テスト
 - ◆ 結合試験
 - 機能(Functional Overview) として定義されている条件について網羅
 確認方法: Postman等外部ツールを使用して送ったConsoleのLow Level SDK
 のAPIのリクエストの応答値と、Console Access Libraryを使用して送ったリクエストの応答値が一致しているか

制限事項

その他特記事項

未決定事項